



南部の工芸ワークショップ（草木染め）



南部の工芸ワークショップ（五戸ばおり）

五戸ばおりとは、江戸末期に考案された農作業などの際に使われる編み笠の一つです。い草を使用しているため軽く、水分を含むと網目は締めまり雨を通さない特徴があります。(県HPより)

## ●新規登録団体のご紹介●

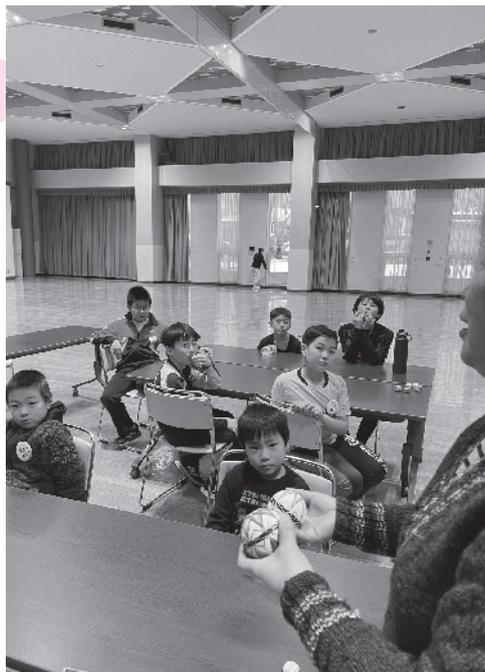
### NPO法人 なんぶ民藝

理事長 山田友子さん

NPO法人なんぶ民藝は、青森県南部地域に受け継がれてきた伝統工芸や手仕事を通じて、人が学び、働き、つながる場を育てることを目的に活動しています。

南部菱刺し、南部姫毬、五戸ばおり等を軸に、年齢や立場、障がいの有無を越えて関われる学びと実践の機会を創出しています。

また、地域に根ざした文化や技術を国内外へ発信し、地域と世界をつなぐ活動にも取り組んでいます。福祉や教育、地域産業と連携しながら、文化が次の世代へ自然に手渡されていく循環を目指しています。



南部の工芸ワークショップ（南部姫毬）



南部の工芸ワークショップ（南部菱刺し）

# 新規登録団体のご紹介

## ●サカズキシアター

代表 山田洋一さん

映画上映支援団体「白マドの灯」からの派生団体。映画館のない八戸で映画の楽しみや必要性を再認識してもらうべく映画上映会を行う。

映画は文化、人生、アート、ファッション、音楽など学ぶものが多い。観る人と一緒にその場を楽しむ。そんな映画上映会を催していきます。

◎最近の活動歴：犬と一緒に映画を観よう上映会「吾輩は保護犬である」

唯一無二な企画イベントをやって楽しみたい。



## ●八戸市視力障害者福祉会

代表 大久保友芳さん

当会は、視力障がい者の生活水準の向上のため活動しています。昨年6月には、会員同士の交流をはじめ、地域の方々へ視覚障がい者について知ってもらうため、「街へ出かけようキャンペーンー白杖を持ってー」を八戸市と共催しました。当会会員所属のゴスペルをはじめ、カラオケや、アフリカン太鼓(ジャンベ)、絵本の朗読を発表し、街ゆく人々に視覚障がい者について知ってもらうことができました。また、地域奉仕として年に数回「治療奉仕」も開催しております。当会の活動に理解を深めていただきますようよろしくお願いいたします。

## ●青森バイオリフ

代表 村上里美さん

私たち一人一人が住まわせて頂いているこの地球が、破壊ではなく蘇生出来るよう、そして自分の健康も食から変えられる事、食改善、環境問題と私たちが先ず出来る事を発信させて頂いています。

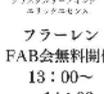
はち  
マルシェ  
入場無料

地球に優しい  
心地よい暮らし

主宰：Earth Vision  
～青森バイオリフ～

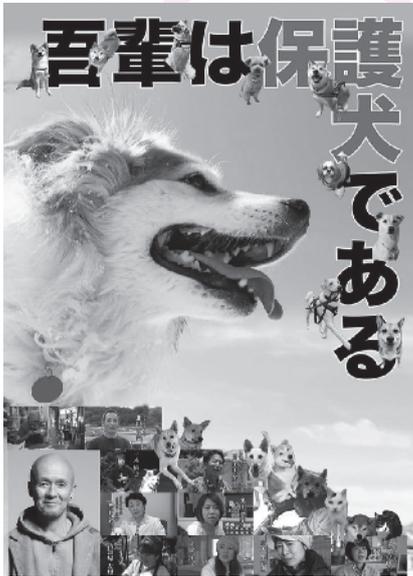
2026.1.31 (土)  
9:30～16:00  
八戸ポータルミュージアム  
はっち 二の間、三の間、八席

次回出店者募集 お問合せは公式ラインから

 Cadeau 著者 藤村ミズバツグ 単行本	 Le pomme 著者 シンギングボウリン 単行本	 著者 藤村ミズバツグ 単行本
 Earth Bloom 著者 藤村ミズバツグ 単行本	 虹色～期かっさ 著者 チャクラ鑑定 単行本	 Garner Queen 著者 クリスティーナ・ブロング 単行本
 natural life 著者 スーザン・WS 単行本	 シリウスエス 著者 ブラーレン 単行本	 Flare 著者 FAB会無料開催 単行本

13:00～  
14:00  
※FABクリーム  
ない方は300円

このような活動をしています。

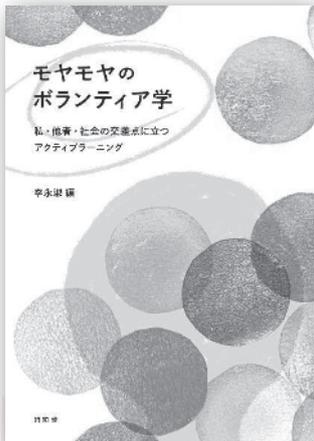


## スタッフおすすめ わいぐライブラリ

わいぐでは、住民活動に役立つ書籍や冊子を閲覧できます。また、わいぐ登録団体の会員は借りることもできます。

### モヤモヤのボランティア学

- 著者 李英淑 (リ よんすく)
- 発行 株式会社 昭和堂
- 発行日 2023年3月31日



ボランティアやってみてどうだった？

何を感じた？

相手はどうだった？

そんなこと分からないって？

答えが一つでない世界で、誰もが一度ならず抱くモヤモヤ。学校、病院、文学、アートなど様々な場所・分野で活動する筆者たちが心の奥を語ります。

あなたも一緒に考えてみませんか？

当たり前に使っているボランティアという言葉の意味、ボランティアに対するモヤモヤ感が、腑に落ちるかもしれません。

そして、ボランティアへの取り組み方にも変化があるかも・・・。

### マンガでわかるちょこっと社会貢献

- 著者 上村彰子
- 発行 株式会社 小学館
- 発行日 2023年4月1日



近年、注目を集めているプロボノ。プロボノとはラテン語で「公共善のために」を意味する「pro bono publico」の略で、各分野の専門家が持つスキルや経験を活かして社会貢献するボランティア活動や、そこに参加する人々を指します。本書は、キャリアのターニングポイントを迎えた50代以上の社会人をはじめ、毎日の生活にどこか物足りなさを覚えている全ての人々におススメ「プロボノのマンガ版入門書」です。

「社会の役に立ちたい」「お金よりも充実感を得たい」と思いつつも何から始めてよいか迷っている方、ぜひ本書をご覧ください。

# 協働のまちづくり研修会

日時 令和7年11月9日(日) 14:00~16:30

場所 八戸ポータルミュージアムはっち シアター2

講師 八戸学院大学地域経営学部 特任准教授 井上 丹 氏

テーマ 「継続的に開催できるイベントを考えよう！」

市民活動団体の必要性を感じていても、少子高齢化による人手不足、資金不足で継続することに悩んでいる団体、地域団体が多いと思います。そんな中で、地域の人々だけではなく、近隣、外部の人をも巻き込んで活動している体験談は、とても勉強になりました。

人と人が繋がり続ける楽しさ、また来たい、また一緒に活動したいと思える仲間になる事が大切だと感じました。



## わいぐへの気軽な相談で、活動のお悩みを解決しませんか？

わいぐでは、登録団体の皆様を対象に「活動の悩みなんでも相談」を実施しており、スタッフでは難しい相談にも対応できるよう、今年度より「プロボノ※」プロジェクトに取り組んでいます。(※プロボノは職業上の経験や専門知識を活かしたボランティア活動のこと。)

ただ、プロボノが聞き慣れない言葉であるために、もしかすると相談をためらう方がいらっしゃるかもしれませんが、実際には、相談内容に応じてスタッフが解決方法をご提案しておりますので、相談者がプロボノについて知らなくても全く問題ありません。

問題を抱えながら自力だけで活動するのは非常にご苦労が多いことと思いますし、せっかく素晴らしい活動をしていても、活動が継承されなければ、八戸から市民活動の灯が1つ消えてしまうこととなります。

活動にお悩みがありましたら、まずはどんなことでもお気軽にご相談いただければと思います。

### 【解決方法のご提案の例】

①団体のロゴやパンフレットのデザインをしてほしい

→デザインを本職としている全国のボランティアとつなぎ、実際にデザインしてもらいます。

(プロボノ)



②団体ホームページを立ち上げたい、仕組みや費用のことなど教えてほしい

→ITに詳しいわいぐ登録団体とつなぎ、どのようなページを作りたいか聞きながら、希望に沿ったプランをご紹介します。(プロボノ)

③他の団体ではどのように問題解決しているか知りたい・他の団体と一緒にイベントをしたい、興味がある

→同じ分野の団体とつなぎ、一緒に交流しながら協働する方法を探ります。

④活動で使うものが不足している

→わいぐ登録団体のなかで当用品が余っているところがないか探りま

す。また、わいぐに寄付されたもの(在庫)があれば提供します。

⑤イベント開催にあたり若い人にも手伝ってほしい

→市や県を通して、学生・高校生ボランティアを募集します。

★活動のお悩み相談があった際は、団体の活動や特性に応じお声がけさせていただきます。「お互いにつながり合い、助け合い、共に進もう！」ということで、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### もののプロジェクト

まだまだ使えるファイルをいただきました。ご希望の方はわいぐまでお問い合わせください。

## 第38回 NHK厚生文化事業団・地域福祉を支援する「わかば基金」

地域での福祉活動や被災地での福祉活動の展開、または被災地の復旧・復興などに取り組むボランティアグループやNPOを応援します

「わかば基金」は、地域に根ざした福祉活動を展開しているNPOやボランティアグループが、活動の幅を広げるための支援をしています。

福祉にとって厳しい時代が続く今だからこそ、「わかば基金」は地域に芽吹いた活動をもっと応援していきます。

次の2つの方法で、活動を応援します。

多くのグループからの申し込みをお待ちしています。

### 1. 支援金部門

国内のある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金でより活動を広げたいというグループ、より活動を広げるために物品等をそろえたいというグループ

1グループにつき、最高50万円、15グループほどを予定

### 2. PC・モバイル端末購入支援部門

パソコンを利用して地域で活発な福祉活動に取り組んでおり、台数を増やすことで、より高齢者や障害当事者に役立ち、活動の充実を図れるグループ

1グループにつき、最高10万円を補助、30グループほどを予定

◆応募を検討する際には  
募集要項をご確認ください→



◆受付期間  
2026年2月2日(月曜)～3月26日(木曜) 必着/郵送のみ受付

◆主催者・申請・問い合わせ先  
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1  
NHK厚生文化事業団「わかば基金 ○○○○部門」係  
※あて先の「○○○○」には、「支援金」か「PCモバイル」のどちらかを  
ご記入の上、郵送してください。

TEL 03-3476-5955 (平日10:00～17:00)

◆お問い合わせ ↓↓  
<https://www.npwo.or.jp/contact>

## 公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金 2026年度教育・福祉・環境助成事業

### ◆助成の主旨

公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金は、地域の発展、地域貢献に資するため、ボランティア活動を始めとする市民活動を通じて行う青森県の自然、地域・生活文化、歴史、風土などの地域資源を活用・創造する活動や、健康増進、医療、福祉、環境に関連する活動を行なう青森県内の個人、団体、NPO法人及び企業等に対し、必要な費用を助成します。

### ◆助成対象活動

次の(1)～(8)のいずれかに該当し、助成対象期間に他の助成を受けない活動を対象とします。

ただし、営利を目的とした活動は対象外とします。

- (1) 保健・医療・福祉又はそれに関連する活動
- (2) 地域の自然科学に関する研究活動
- (3) 地域の環境保護に関する活動
- (4) 郷土の歴史や文化にかかわる調査・研究活動
- (5) 高齢者への生活支援サービス活動
- (6) 芸術・文化の育成、保存、伝承、啓発、発信等の活動
- (7) スポーツ競技力の向上や、生涯スポーツ普及に向けた活動
- (8) その他、目的に基づき適当と判断した活動

### ◆助成対象団体等

青森県内の個人、団体、NPO法人、企業等で、原則として1年以上の活動実績があり、助成金給付後、活動実績報告書を提出できる先とします。

ただし、過去3年以内(2023年度以降)に当財団の助成金の交付を受けた先及び政治活動又は宗教活動を目的とする先は対象外とします。

### ◆助成対象期間

2027年1月1日から2027年12月31日までに行われる活動を対象とします。

### ◆助成金の額

- (1) 助成金額は、必要費用以内で、かつ100万円を限度とします。
- (2) 選考において、申請金額を減額して助成決定を行う場合もあります。
- (3) 助成対象件数は、年間5～10件程度とします。

### ◆申請期間

毎年4月1日から6月30日までの3ヶ月間とします。

なお、公募期間は4月1日から5月31日までの2ヶ月間とします。  
※ 期限は厳守願います。

### ◆その他の詳細

下記リンクをご確認ください。

[www.michinoku-furusato.or.jp](http://www.michinoku-furusato.or.jp)

### ◆お申込み・問い合わせ先

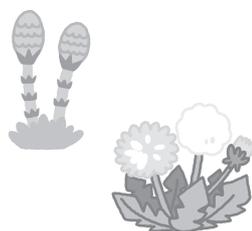
公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金  
〒030-0821 青森市勝田1丁目3番1号 TEL: 017-774-1179  
URL: <https://www.michinoku-furusato.or.jp>  
E-mail: [kikin@michinoku-furusato.or.jp](mailto:kikin@michinoku-furusato.or.jp)

## 編集後記

わいぐでは市民活動を行っている団体の登録を推進しています。登録された団体の活動紹介の場を設け、Be-FMでのイベント紹介のほか、はっち2階、市庁本館1階にも情報コーナーを設置しています。プロボノのマッチングや情報提供なども行っています。

いつでもわいぐに来てスタッフに声をかけてください。お待ちしております。

(赤坂美千子)



### ～編集発行～

八戸市市民活動サポートセンター  
「ふれあいセンター わいぐ」

### ●編集●

公募編集委員  
松原新一・黒澤美智子・住吉治彦  
わいぐスタッフ

〒039-1166  
青森県八戸市根城八丁目8-155  
八戸市総合福祉会館  
(はちふくプラザ ねじょう) 3階  
TEL 0178-73-3311  
FAX 0178-73-3312  
E-mail [support@waigu.info](mailto:support@waigu.info)  
HP <https://www.waigu.info/>



わいぐのHPはこちらからも見ることが出来ます。

### わいぐ HP

～「わいぐ」という名前について～  
青森県南部地方の「私、行く(わあいぐ)」という方言が元になっています。「市民が積極的に社会の問題に取り組むきっかけの場所になるように」という願いが込められています。